

## 2010生態工学会 年次大会プログラム

5月14日(金)[口頭発表、オーガナイズドセッション、年次総会、表彰式、受賞者講演、一般公開特別講演会、懇親会]

08:45- 参加登録開始

09:30-09:35 開会の挨拶 2010 生態工学会年次大会委員長 諸見里 聰(沖縄県庁)

09:35-09:40 会長挨拶 生態工学会 会長 大政 謙次(東京大学)

### ■ 口頭発表

● セッション 1 [循環養殖、水産] 座長:増田篤稔(ヤンマー)

09:40-09:52 01 スピオ科多毛類 *Polydora cornuta* Bosc1802 の摂食生態

○高田詔民(日本総合科学)、浮田諭志(日本総合科学)、高橋弘幸(日本総合科学)、  
山崎恭子(日本総合科学)、栗木原秀文(日本総合科学)

09:52-10:04 02 海産仔稚魚餌料用動物プランクトンにおける自動計数および遊泳速度測定のための基礎的研究

○遠藤雅人、松本信太朗(海洋大)、吉澤 聡(ケイコムエンジニアリング)、延東 真、  
竹内俊郎(海洋大)

10:04-10:16 03 閉鎖循環式海産魚飼育における泡沫分離処理が水質に及ぼす影響

○金子義昂(海洋大)、古田岳志、菊池弘太郎(電中研)、遠藤雅人(海洋大)、  
杉田治男(日大)、竹内俊郎(海洋大)

10:16-10:28 04 閉鎖系水圏実験施設における閉鎖生態系実験と海草群落生態系炭素移行モデル

○石川義朗、阿部康一(環境科技研)

10:28-10:40

休憩

### ■ 招待オーガナイズドセッション「沖縄における水産増養殖の現状と今後」

10:40-12:00 オーガナイザー:山本隆司(沖縄県海洋深層水研究所)、諸見里 聰(沖縄県庁)

01 半閉鎖循環式飼育システムによるハタ類の陸上養殖

○中村博幸(沖縄水海研セ)、知名真智子(沖縄水海研セ)、伊差川哲(伊平屋村漁協)、  
野甫英芳(伊平屋村漁協)、須永順平(伊平屋村漁協)、末吉誠(伊平屋村漁協)  
金城清昭(沖縄栽漁セ)

02 ハタ科魚類の性および成熟の人為的制御について

○中村將、村田良介、Mohammad A Alam、小林靖尚(琉球大学)

03 ヒメジャコ養殖基盤の開発

○岸本和雄(沖水海研セ石垣支所)、久保弘文(沖水改善セ)、横山智光(寄神建設株式会  
社)、久貝幸作(沖縄セメント工業株式会社)、高吉正信(株式会社ミヤコン)、岩井憲司(沖  
栽漁セ)、井上 顕(沖水海研セ石垣支所)

04 高級魚シロクラベラの放流技術開発に向けた生態研究の取り組み

○山田秀秋(水研セ西海水研石垣支所)

05 シラヒゲウニの放流技術

○玉城 信(沖縄県水産海洋研究センター)

06 サンゴ礁域での藻類養殖に関する光環境モニタリング

○遠藤良輔(大阪府大)、須藤裕介(沖縄県海洋研究セ)、諸見里 聰(沖縄県庁)、  
小西充洋、増田篤稔(ヤンマー)、向阪信一(向阪技術士事務所)、村上克介(三重  
大)、北宅善昭(大阪府大)、大政謙次(東大)

12:00-13:00

昼休み/各委員会

- 13:00-13:45 年次総会
- 13:45-14:00 学会賞表彰式
- 14:00-14:20 学会賞受賞記念講演会

14:20-14:30 休憩／一般来場者入場

■ 一般公開特別講演会 「沖縄の一次産業と環境、資源エネルギー循環」

司会:北宅善昭(大阪府大)、船田 良(東京農工大学)

14:30-14:35 挨拶 大政謙次(東京大学)

14:35-15:05 基調講演 「沖縄－亜熱帯島嶼地域の一次産業と環境、資源、エネルギー」  
上野正実(琉球大学農学部)

15:05-15:35 「亜熱帯地域における植物工場」  
川満芳信(琉球大学農学部)

15:35-15:45 休憩

15:45-16:15 「宮古島におけるサトウキビからのバイオエタノール実証実験」  
奥島憲二(株りゅうせき バイオエタノールプロジェクト推進室)

16:15-16:45 「亜熱帯沿岸生態系の保全と活用－陸上と沿岸との関わりからの視点からの考察－」  
土屋 誠(琉球大学理学部)

16:45-16:55 総合討論

17:15 バス 出発時刻

■ 懇親会 (於:沖縄ポートホテル) 18:00-20:00

■口頭発表

● セッション 2 [農業、植物モデル]

座長: 齋藤高弘(宇都宮大学)

- 09:00-09:12 05 連作長ネギ畑における豚尿液肥散布による長ネギの肥培効果および病害抑制効果  
○皆川秀夫、吉田伸志、吉岡大貴(北里大)、土肥哲哉(東大農場)、田中勝千(北里大)
- 09:12-09:24 06 持続可能な高収益農業生産を目指した気象資源の有効利用に関する研究  
I. 斜面日射の蓄放熱効果のハウスモデルによる検討  
○北野雅治、大渡勝史(九州大学農学部)、加藤健悟(大分県庁)
- 09:24-09:36 07 酵素反応速度論に基づいた根のイオン吸収モデルに対する吸水の統合  
—養水分管理への応用に向けて—  
○佐合悠貴、北野雅治(九大農)、日高功太(九沖農研)、安武大輔(高知大)
- 09:36-09:48 08 超音波風速計を用いた多点型台風観測システムの検討  
○玉城 磨(沖縄県農業研究センター)、内山信司(株式会社ソニック)、伊藤芳樹(株式会社ソニック)、玉城史郎(琉球大学)

09:48-09:50

座長交代

■ 招待オーガナイズドセッション「農地生態、環境、生体情報モニタリング技術の応用と展望」

- 9:50-11:00 オーガナイザー: 上野正実、川満芳信(琉球大学農学部)、赤地 徹(沖縄県農業研究センター)
- 01 大規模品質情報ネットワークによるサトウキビ生産の高度管理  
○平良英三、上野正実、川満芳信(琉球大学農学部)
- 02 作物生育環境モニタリングシステムの開発とFACEによる増産の試み  
○富永淳、川満芳信、福澤康則、河崎俊一郎、上野正実(琉球大学農学部)
- 03 バイオマス転換資材の施用が農地土壌環境に及ぼす影響とそのモニタリング  
○小宮康明、川満芳信、上野正実、福沢康則(琉球大学農学部)
- 04 高品質ブランドマンゴー生産に向けた情報収集技術の開発  
平良英三、○赤嶺崇臣、宮平洋之、鈴木佑大、上野正実(琉球大学農学部)
- 05 島尻マーヅ(典型石灰型暗赤色土 / Typic Paleudalfs)におけるメタン発酵消化液のカボチャ肥料代替  
○久場峯子、比嘉明美、新里仁克(沖縄県農業研究センター)、登野盛博一(沖縄県営農支援課)、凌祥之(農工研)

11:00-11:05

休憩

■ ポスターセッション

11:05-12:00

- P01 生体電位検知結果に基づく点滅光照射がミニトマトの生育に与える影響  
○中林和重、泉貴久(明治大 農 植物環境調節学)
- P02 様々な波長の点滅光の付与が葉菜類の生育に与える影響  
○森紗綾香、中林和重(明治大 農 植物環境調節学)
- P03 給水量と光量の違いがトマトの形態および光合成活性におよぼす影響  
中林和重、○寺田幸平(明治大 農 植物環境調節学)
- P04 培養液中カルシウム濃度の違いがトマトの生育に与える影響  
中林和重、○坂本浩介(明治大 農 植物環境調節学)

- P05 **イチゴの省力、多収生産を目指した極少量培地栽培技術の開発**  
○日高功太、壇和弘、沖村誠(農研機構九沖農研)
- P06 **培養液原水の純度がサラダ菜の生長におよぼす影響について**  
○石上勝也、齋藤高弘、志賀 徹(宇都宮大学)
- P07 **減圧噴霧乾燥法による緑茶抽出液の高品質粉末化**  
○森口啓(筑波大学大学院)、北村豊(筑波大学大学院)、間野博信(株式会社ポッカコーポレーション)、井上孝司(株式会社ポッカコーポレーション)
- P08 **清酒製造過程の評価に向けた蛍光分光法の適用**  
○片岡皆人、齋藤高弘、志賀 徹(宇都宮大学)、杉江 正美(浜松ホトニクス)、佐々木隆浩、岡本竹己(栃木県産業技術センター)、萩原 昌司(食品総合研究所)
- P09 **NaClO発光による清酒の熟度評価法の開発**  
○阿部泰幸、齋藤高弘、志賀 徹(宇都宮大学)、杉江 正美(浜松ホトニクス)、佐々木隆浩、岡本竹己(栃木県産業技術センター)、萩原 昌司(食品総合研究所)
- P10 **ラン藻(*Nostoc* sp.)の高・低温耐性**  
○五十嵐裕一、富田一横谷香織、本橋恭兵、佐藤誠吾(筑波大学)、新井真由美(日本科学未来館)、馬場啓一(京都大学)、大森正之(中央大学)、橋本博文、山下雅道(JAXA)
- P11 **シバ(*Zoysia* sp.)の発芽、生長に対しネジバナ由来の菌(*Rhizoctonia* sp.)が与える影響**  
○藤森祥平、富田一横谷香織、阿部淳一ピーター(筑波大学)、篠崎聡(前川製作所)
- P12 **生物の突然変異がマイクロゾウムに及ぼす影響**  
○寺尾卓真(日大院)、王丸哲文(日大)、中根昌克(日大)、石川芳男(日大)、杉浦 桂(相模女子大)
- P13 **閉鎖系陸圏実験施設を用いたヨシ優占湿地における炭素収支の評価**  
○鈴木静男(環技研)、横沢正幸(農環研)、原登志彦(北大)、犬伏和之(千葉大)、木村康倫(サイエンテック)、津賀正一(環技研)、多胡靖宏(環技研)、中村裕二(環技研)
- P14 **CELSSにおける自律的物質循環制御手法の検討**  
○山崎暢大(日大院)、篠崎伊久磨(日大院)、中根昌克(日大)、石川芳男(日大)、宮嶋宏行(東京女学館大)
- P15 **閉鎖型生態系実験施設の植物栽培システムの水の循環利用**  
○新井竜司、谷 享、小松原修、多胡靖宏((財)環境科学技術研究所)
- P16 **水田に鋤き込まれた稲ワラの分解**  
○永井 勝、坂田 洋、多胡 靖宏、中村 裕二(財団法人 環境科学技術研究所)
- P17 **緑地環境創出植物としてのヘアリーベッチの開花に及ぼす実生苗に対する低温処理の影響**  
○小池安比古、平賀唯、乗越 亮(東京農大)
- P18 **原料中のリン脂質が無触媒過熱メタノール蒸気法でのバイオディーゼル燃料製造に及ぼす影響**  
○萩原昌司(農研機構 食総研)、志田京子(東京大学)、三浦智己(東京大学)、荒木徹也(東京大学)、相良泰行(東京大学、FKC)、鍋谷浩志(農研機構 食総研、東京大学)
- P19 **模擬土壌法による石炭灰の植物生育に対する影響の検討**  
○寺添 斉(電中研)

■ 口頭発表

● セッション 3 [バイオマス利用、環境保全、生体情報] 座長:新井竜司(環境科技研)

- 13:00-13:12 09 過熱メタノール蒸気法によるバイオディーゼル燃料製造の品質向上に関する研究  
○三浦智己(東京大学)、荒木徹也(東京大学)、相良泰行(東京大学、(社)FKC)、  
宮野寛(鹿島建設(株))、多田羅昌浩(鹿島建設(株))、後藤雅史(鹿島建設(株))、  
萩原昌司(食総研)、鍋谷浩志(食総研)
- 13:12-13:24 10 ハイブリッド酸触媒を用いたセルロースからの有用化学品合成技術  
○富永健一、森 敦、福島友史子、島田 茂、佐藤一彦(産業技術総合研究所)
- 13:24-13:36 11 活性炭表面を被覆した酸化チタン多孔性薄膜によるイソプロパノール含有空気の処理  
○白石文秀(九大バイオアーキ)、福田孝志(九大院農)、柴田祐一郎(九大院農)
- 13:36-13:48 12 宇都宮大学サステナブルビレッジの概要  
○齋藤高弘(宇都宮大学)、野口良造(筑波大学)、毒島智和(毒島建築設計室)、野口達也  
(藤田エンジニアリング株式会社)

13:48-13:50 座長交代

● セッション 4 [生態系、資源循環、閉鎖系システム] 座長:皆川秀夫(北里大  
学)

- 13:50-14:02 13 あいち海上の森に隣接する湧水湿地の植生環境と土壌動物群集  
○武田美恵(愛知工大)
- 14:02-14:14 14 樹木の樹形と重力-構築成分との関係  
○富田一横谷香織、本橋恭兵、佐藤誠吾(筑波大学)、馬場啓一(京都大学)、鈴木利貞(香  
川大学)、桜井直樹(広島大学)、橋本博文、山下雅道(JAXA)、樹木WG
- 14:14-14:26 15 有人月探査を目指した生命、環境維持技術  
○桜井 誠人(JAXA)
- 14:26-14:38 16 広域移動型有人宇宙探査のための分散型生命維持システムの管理  
○宮嶋宏行(東京女学館大)

■ 閉会式

- 14:40-14:55 講演論文賞表彰式
- 14:55-15:00 閉会の挨拶 2010 生態工学会年次大会実行委員長 増田篤稔(ヤンマー)

15:15 バス 出発時刻